

施工マニュアル <電空式 / 電動式パワーポスト>

- 1 電源の位置を確認する。
- 2 制御盤、ポスト本体、排水タンクそれぞれの設置場所を確定する。

3 <設置作業>

制御盤

GL 面より深さ約 500mm,幅約 500 を掘削する。パイプスタンド基礎の配管口、又は低背埋込み設置台内より電源ケーブル、及び電空式はメイン配管（ステンレスフレキシブルチューブ）を、電動式は各ポストからの電線を通し、設置する。又、1 番目のポストまでのメイン配管を設置するため、深さ約 300mm、幅約 200mm にて掘削し配管経路を確保する。



ポスト本体

<電空式 / 電動式共通>

GL 面より深さ約 1,100mm、幅約 600mm にてポスト設置箇所、及び排水タンク設置位置まで総掘りする。基礎を固め、その上にポストが垂直になるよう設置し算木などで固定する



排水タンク

<電空式 / 電動式共通>

制御盤から見て、連立する最終ポストの先、又は1 番目のポスト手前付近に、GL 面より深さ約 1,500mm,幅約 600mm の掘削を行い(のポスト基礎より 400mm 深く)排水タンクを垂直に設置する。排水管は連立するポストと平行、かつ排水タンクへ向けて 2° ~ 3° の下り勾配を設け、配管する。



4 <排水管の接続>

<電空式 / 電動式共通>

勾配に合わせ、ポストと平行に設置し、排水タンクと接続する。ポスト本体下部の排水口と排水管の排水口は特殊ホース（ワンタッチフレックスチューブ）により接続する。その際特殊ホースが折れ曲がらないよう注意し、長さを合わせカットする。カットした側の特殊ホースを差し込み、ポスト下部より上に湾曲しないか、又抜け落ちないか確認する。



5 <一部埋め戻し作業>

排水タンク、及び電空式の場合、ポスト本体のエアー給排口の下部までを、又電動式の場合はポストの中間付近までをダストで埋め戻し、ランマーにより点圧する。



6 <メイン配管とポスト本体との接続>

<電空式の場合>

パイプレンチ、スパナ等により接続金具の隙間が無くなるまで締め付けた上で、特殊ホース（13ワンタッチフレックスチューブ）にて接続する。順序としては、まずポスト本体と接続し、その後特殊ホースが折れ曲がらないよう注意し長さを合わせカット、メイン配管に接続する。

* 電動式の場合は、各ポストからの電線を直接制御盤まで引き込み、配線接続図を確認の上、端子台へ結線する。



- 7 試験運転。
上記作業がすべて完了後、試験運転をし、ポスト本体が垂直で設置されているか、又動作に異常はないかチェックする。リモコン操作による動作の確認も行う。
<電空式> 特にエア漏れがないか十分に確認する。
<電動式> 全ポストの昇降動作が順当であるかを確認する。
- 8 最終埋め戻し作業。
舗装面のコンクリート打設面までを、ダストを入れランマーにより点圧、埋め戻しをする。
- 9 再度ポスト本体の垂直を確認、傾斜のある場合は調整する。
- 10 コンクリート打設面にメッシュを敷き、ポスト本体のケースガイドを広げる。
- 11 コンクリート打設。整面作業。
- 12 <電空式の場合>
制御盤にてポストの動作時間を設定する。(昇降動作時間の個々の設定)
- 13 作業完了。



完成写真「県立あいかわ公園」